





# 堀之内よしひらはやります!

一般質問

令和4年 第4回 (12月) 定例会 (令和4年12月6日に一般質問を行いました。)

## ● 知事の政治姿勢について ●

### 我が国を取り巻く安全保障環境について

**Q.** ロシアのウクライナ侵攻は、私たちの生活にも深刻な影響を及ぼしており、原油、天然ガス価格の上昇によるエネルギー価格の高騰に加え、世界の供給量の29%を占める小麦やトモロコシなどの穀物をはじめとした食料価格の急騰を招いている。また、中国に目を転じると、台湾周辺や我が国の領土である尖閣諸島近海での不穏な動きが続いており、台湾有事はいつ起きてもおかしくない段階に来ている。尖閣諸島をめぐる、中国公船の領海侵入は常態化しており、先月にも中国海警局の艦艇4隻が相次いで侵入、そのうち1隻は今までにない76ミリ砲を搭載していると報じられた。東シナ海を挟んで中国と向き合う本県にとって、決して枕を高くして眠ることができない状態である。さらに、ロシア、中国と国境を接する北朝鮮の動向も我が国の安全保障を論ずる上で避けて通れない。防衛、安全保障政策が国の専管事項であることは重々承知しているが、ロシア、中国及び北朝鮮という諸外国の脅威についてどのように認識されているか、知事の考えをお示し頂きたい。

(知事答弁)

**A.** ロシアによるウクライナ侵略や、中国による台湾周辺での大規模な軍事演習、北朝鮮による度重なるミサイル発射など、安全保障環境が一段と厳しさを増す中において、我が国の安全と平和を守るためには、必要最低限の防衛力を整備するとともに、アメリカとの安全保障体制により我が国の安全を確保することは、基本的に必要であると考えている。

本県は、南西諸島に多くの離島を有しており、軍事衝突の危機をめぐる問題については、政府において、外交努力により平和的な解決が図られるよう、努めていただく必要があると考えている。

いわゆる反撃能力については、国においては、「国民の命や暮らしを守るために十分な備えができていのかどうか」という問題意識の下で、いわゆる反撃能力も含め、あらゆる選択肢を排除せず、現実的に検討する。」としている。

県としては、国は、防衛・安全保障政策を進めるに当たっては、住民の間に不安や懸念を生じることがないよう、十分な説明責任を果たす必要があると考えている。

### 北方領土問題について

**Q.** ロシアのウクライナ侵攻後、プーチン大統領は、ロシアが不法占拠する北方領土を含むクリール諸島に進出する国内外の選出企業を対象に、所得税などの各種税金を原則的に20年間免除する法案に署名し発効させた。こうしてロシアのウクライナ侵攻は、日露関係のさらなる悪化を招き、従来からの懸案にも深い影を落としており、最近返還をめぐる動きが止まっていると言わざるを得ない現状について、知事はどのように見ておられるのか、見解をお示し頂きたい。

(知事答弁)

**A.** 私としては、ウクライナの平和と安全はもちろんのこと、日本国民の長年の悲願でもある北方領土返還実現のためにも、即時にロシア軍が撤退することにより戦争が終結し、日露間に外交交渉が、一日も早く正常化することを強く願っている。

### 旧統一教会問題について

**Q.** 7月8日に安倍元首相が凶弾に倒れた。逮捕された容疑者は、母親が旧統一教会に入信したことで家庭生活が破綻、当該団体への恨みを募らせたことが元首相銃撃につながった旨の供述をした。宗教法人の解散命令並びに被害者救済新法案について、国会で現在審議中だが、この問題や審議の状況について知事はどのように認識されているのか、お聞かせ頂きたい。

(知事答弁)

**A.** 世界平和統一家庭連合、いわゆる旧統一教会の問題については、悪質な献金など社会的に様々な問題が指摘されており、悪質な献金等の被害者救済と再発防止は重要な課題であると認識している。

同法人に対する宗教法人法上の解散命令については、文部科学省において、11月22日に同法人に対する質問権が行使され、12月9日を期限に報告を求めるとされており承知している。

同法人に対する解散命令の請求の可否については、宗教法人法上、同法人を所轄する文部科学省において判断されるべき事項と考えている。

### 和牛共進会



祝

全国和牛能力共進会  
和牛、日本一!

これまで、そして、これからも

平成15年の初当選から20年の間、堀之内よしひらは24回の議会質問をはじめ、常任委員会や議会外での活動などを通じ、政策実現や地域の課題解決に一生懸命取り組みました。

一般質問

## 大隅半島の道路整備について

### 錦江湾横断交通ネットワークについて

**Q.** 錦江湾横断道路は、交通の利便性向上や生活圏の拡大、観光資源としての活用のみならず、激甚化傾向にある自然災害への対応や、救急医療体制の確保など、大隅半島に暮らす人々の命と暮らしを支える大動脈であり、個人的には天草架橋より優先度は高いのではないかと考える。そこで、平成30年度に調査費が計上されてから現在に至るまで、どのような検討がなされて、現状ではどのような取り扱いとなっているのか、お示し頂きたい。

(知事答弁)

**A.** 令和3年度には、同ネットワークの整備により、交流人口の拡大、物流の利便性の向上、大隅半島からの救急搬送時間の短縮等が期待されることから、かごしま新広域道路交通ビジョン及び計画において、将来、高規格道路もしくは一般広域道路としての役割が期待されるものの、現時点で、路線の起点や終点を含め、具体的なルートなどが決まっていない道路である構想路線として位置づけたところである。

私としては、半島間の往来の程度、経済的効果、事業の採算性、国の協力方針、関係自治体や県民の意向、県議会での御議論等を踏まえ、引き続き、総合的に検討していく必要があると考えている。

### 国道504号の鹿屋市内における整備状況等について

**Q.** 国道504号は、鹿児島空港へのアクセス道路として、大隅半島を縦断する重要な幹線道路である。6項目が要望書に上がっているが、鹿屋市に関する3項目、鹿屋市吉ヶ別府地区の早期完成、輝北町市成地区の歩道整備、祓川バイパスの整備について、それぞれ整備のスケジュールなど、見直しをお示し頂きたい。

(土部長兼本港区まちづくり総括官答弁)

**A.** 大隅地域から空港へのアクセス道路として重要な道路であり、鹿屋市内においては、現在3箇所の道路整備を行っている。このうち、祓川地区については、歩道が狭く見通しの悪いカーブが連続することから、本年度から祓川バイパスとして事業に着手し、現在、測量設計を実施しており、今後、用地買収を進めることとしている。

吉ヶ別府地区の700メートル区間については、急カーブが連続することから、平成25年から吉ヶ別府拡幅として事業に着手し、現在、改良工事を行っており、引き続き、改良工事を進めることにしている。また、輝北町の市成地区の歩道整備については、令和元年度に事業着手し、現在、来年度工事着手に向け、用地買収を進めているところである。今後とも本路線の着実な整備に努めてまいりたい。

# 継続こそ力!

まじめに 一生けんめい



R5. 1. 18 県庁にて

### 大隅半島を横断する道路構想(高隈トンネル)についての県の認識等について

**Q.** 大隅総合開発期成会では、14年前から最重要課題として位置づけ、この事業の新規採択を図ることを要望しているが、私が平成30年9月議会で取り上げた後、議論に上ることなく4年が過ぎていく。ここはまず広域道路ネットワークに位置付けて、実現に向けた第一歩を踏み出すべきだと考えるが、県の考え方をお示し頂きたい。

(土部長兼本港区まちづくり総括官答弁)

**A.** 大隅半島を垂水から鹿屋申良ジャンクションに向けて横断する道路構想については、これまで地元から整備の要望があり、また、昨年度実施した「かごしま新広域道路交通計画」の策定に伴うパブリックコメントにおいては、同構想に関するコメントが16件寄せられた。

現在、大隅地域においては、東九州自動車道や大隅縦貫道、都城志布志道路など本県の骨格となる道路をはじめ、国道220号や国道504号等において整備を進めているところである。御要望の構想については、標高千メートルを超える高隈山系を貫くトンネルの整備が必要となるなど、大規模な事業となり、多額の事業費が見込まれることから、多くの検討すべき課題があると考えている。

### 県道垂水南之郷線の整備状況について

**Q.** 昨年度より大野原区としてようやく着手され、本年度は3000万円余りの予算が調査費として計上されたことと認識している。そこで、大野原区における整備の進捗状況と、今後の整備計画についてお示し頂きたい。

(土部長兼本港区まちづくり総括官答弁)

**A.** 本路線のうち、垂水市大野原地区においては、幅員が狭く、線形不良で見通しの悪い約1.3キロメートルの区間について、昨年度から大野原区として事業に着手し、現在、測量設計を進めているところである。本工区については、地形が急峻で高低差があり、道路の構造検討が必要なことや、道路の周辺に国有林があり、関係機関との調整が必要なことなどの課題があるが、地元の御理解をいただきながら、着実な整備に努めてまいりたい。



肝属地区駅伝運営協議会 (R5.1.13開催) に会長として出席